



2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年1月31日

上場会社名 株式会社 魚力
コード番号 7596 URL <https://uoriki.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 042-525-5600

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	27,136	6.0	1,307	57.4	1,627	51.3	1,050	46.0
2023年3月期第3四半期	25,611	1.1	830	28.1	1,075	31.0	719	35.0

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 1,128百万円 (46.1%) 2023年3月期第3四半期 771百万円 (33.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	75.27	
2023年3月期第3四半期	51.56	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	22,068	16,793	76.0
2023年3月期	19,688	16,332	82.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 16,781百万円 2023年3月期 16,318百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		24.00		24.00	48.00
2024年3月期(予想)		24.00		24.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,500	5.2	1,430	31.6	1,820	28.3	1,140	42.0	81.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期3Q	14,620,000 株	2023年3月期	14,620,000 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2024年3月期3Q	666,309 株	2023年3月期	667,309 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期3Q	13,953,269 株	2023年3月期3Q	13,951,864 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の収束や雇用・賃金の増加を受け、対面型サービスを中心に個人消費、また、堅調な企業収益などを背景とした設備投資を起点に緩やかに回復いたしました。しかしながら、一方で、物価上昇や円安、一部の業種におけるコスト増加による企業業績の悪化、わが国以外の主要各国での金融引き締めをきっかけとする世界経済の減速が懸念されるなど、景気下振れ要因が多く見られます。収束を見通せないウクライナ情勢や中東情勢は景気の先行きに関する不透明感を濃くしております。

水産業界におきましては、地球的規模で地上からの供給に代わるタンパク質の供給源として、また、国内外において広がる健康志向などから、養殖業を含む水産業、また、水産物に対する注目度は高まっております。しかしながら、海外で高まる水産物需要・わが国では地球温暖化が原因とも言われる不漁による魚価高騰、原油価格上昇に起因する諸コスト増大など、当社を取り巻く経営環境はたいへん厳しい状況にあります。

このような経営環境の中、当社グループにおきましては、中期経営計画(2021-2023年度)の下、チャレンジ(SDGsへの取り組み、日本の食文化の世界への普及など)、仕入・販売、人材、財務といった各事業分野における基本戦略に取り組んでまいりました。

このような中、第3四半期における既存店売上高が3四半期連続で前年を上回りましたが、これは本格的な物価上昇への順応、雇用情勢改善・賃金上昇による消費者の消費マインド、購買力の高まりによるところが大きいと考えております。

なお、8月末より開始された東京電力福島第一原子力発電所処理水放出について、10月に2回目の放出が行われましたが、現状では業績への影響は限定的であります。引き続き推移を注視してまいります。

この間、小売事業で6店舗を出店する一方、2店舗を退店し、当第3四半期連結累計期間末の営業店舗数は96店舗となりました。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は271億36百万円(前年同期比6.0%増)、営業利益は13億7百万円(前年同期比57.4%増)、経常利益は16億27百万円(前年同期比51.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は10億50百万円(前年同期比46.0%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①小売事業

小売事業では、コロナ禍が収束に向かう中、仕入・物流コストの増加に加え賃上げによる人件費の増加に対応するため、店舗ごとの新たな繁閑状況に応じた人員配置の下、作業オペレーションの統一化など運営の一層の効率化、資材の絞り込みなどコスト削減に取り組みながら、旬を重視し活気ある売り場をつくり商品に付加価値をつけることに努力し、特に寿司の販売強化に注力いたしました。また、仕入においてよりよい商品をより安く仕入れることに努力するとともに、ルートの組み換えによる減車など配送コストの削減に取り組みしました。

新店は、2023年4月に各線蒲田駅に隣接する「グランデュオ蒲田西館」内に「グランデュオ蒲田西館店」(東京都大田区)、7月に首都高5号池袋線浦和南料金所南方、新大宮バイパス沿いの「ロヂャース戸田店」内に「魚力市場戸田店」(埼玉県戸田市)、東武スカイツリーライン草加駅の西方、県道103号線沿いの「ロヂャース川口店」内に「魚力市場川口店」(埼玉県川口市)、東武アーバンパークライン大和田駅付近の「ロヂャース大和田店」に「魚力市場大和田店」(埼玉県さいたま市)、9月にJR稲毛海岸駅前の「イオンマリニピアショッピングセンター本館」内に「マリニピア稲毛海岸店」(千葉県千葉市)、12月に各線新横浜駅に隣接する「キュービクプラザ新横浜」内に「魚力海鮮寿司新横浜店」(横浜市港北区)を開店しております。一方、限られた経営資源の効率的な活用を図るため、2023年6月に「魚力海鮮寿司津田沼店」(千葉県習志野市)、8月に「鎌取店」(千葉県千葉市)を退店しております。

この結果、売上高は228億54百万円(前年同期比8.7%増)、営業利益は13億41百万円(前年同期比47.7%増)となりました。

②飲食事業

飲食事業では、2022年3月期より、各店について店舗運営を担当する店舗管理者とメニュー・調理を担当するシェフとの役割分担を明確化するなど店舗オペレーションの見直しや物流の合理化を含む構造改革に取り組んでおります。このような中、コロナ禍の収束等による来店客数の増加が後押しとなり、売上高は前年に比べ増加いたしました。一方で水道光熱費をはじめ店舗運営コストの増加が営業利益を圧迫していますが、黒字化まで今一步のところまで来ております。

この結果、売上高は10億56百万円(前年同期比17.5%増)、営業損失は3百万円(前年同期は営業損失40百万円)となりました。

③卸売事業

卸売事業では、子会社の魚力商事株式会社が、米国において既存取引先への販売、また、アジアにおいて新規取引先の開拓に取り組んでおりますところ、2023年5月に設立した合弁会社のCP-Uoriki Co., Ltd. が、10月から12月にかけてバンコク市内を中心にタイ国内の大型ショッピングモールなどに鮮魚と寿司の小売店舗を5店舗オープンしたことから、これら店舗向けの輸出を開始いたしました。一方で新型コロナウイルス感染症の影響の余波が残り、米国既存取引先での一時的な需要の落ち込みがあり、売上高が前年を下回りました。国内ではスーパーマーケット、地方荷受向けなど売上を伸ばしております。

この結果、売上高は31億76百万円（前年同期比12.6%減）、営業利益は1億54百万円（前年同期比8.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は129億8百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億2百万円増加いたしました。これは主に売掛金が23億53百万円増加したことによるものであります。固定資産は91億60百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億77百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券が6億92百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は220億68百万円となり、前連結会計年度末に比べ23億80百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は49億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億80百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が12億33百万円増加したことによるものであります。固定負債は3億71百万円となり、前連結会計年度末に比べ39百万円増加いたしました。これは主にその他に含まれる長期前受収益が23百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、52億75百万円となり、前連結会計年度末に比べ19億19百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は167億93百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億60百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が3億80百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は76.0%（前連結会計年度末は82.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、現時点において2023年10月31日の「2024年3月期第2四半期累計業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,118,815	7,221,878
売掛金	2,773,760	5,127,729
商品及び製品	343,748	422,929
原材料及び貯蔵品	9,782	11,082
その他	160,367	124,625
貸倒引当金	△723	—
流動資産合計	11,405,751	12,908,244
固定資産		
有形固定資産	991,792	1,202,148
無形固定資産	26,026	26,623
投資その他の資産		
投資有価証券	5,523,997	6,216,694
その他	1,740,855	1,715,182
貸倒引当金	△250	△250
投資その他の資産合計	7,264,603	7,931,627
固定資産合計	8,282,422	9,160,399
資産合計	19,688,173	22,068,643
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,149,053	2,382,843
未払法人税等	203,988	273,485
賞与引当金	324,599	171,610
その他	1,345,892	2,076,230
流動負債合計	3,023,533	4,904,170
固定負債		
退職給付に係る負債	63,050	57,279
資産除去債務	244,985	260,263
その他	24,000	53,844
固定負債合計	332,036	371,386
負債合計	3,355,570	5,275,557
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,563,620	1,563,620
資本剰余金	1,469,762	1,470,505
利益剰余金	13,589,568	13,970,081
自己株式	△962,059	△960,617
株主資本合計	15,660,891	16,043,589
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	714,244	785,446
為替換算調整勘定	△133	4
退職給付に係る調整累計額	△56,910	△47,264
その他の包括利益累計額合計	657,200	738,186
非支配株主持分	14,510	11,310
純資産合計	16,332,602	16,793,086
負債純資産合計	19,688,173	22,068,643

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	25,611,117	27,136,016
売上原価	15,867,164	16,291,617
売上総利益	9,743,953	10,844,399
販売費及び一般管理費	8,913,572	9,537,138
営業利益	830,381	1,307,261
営業外収益		
受取利息	17,892	6,826
受取配当金	140,470	147,264
助成金収入	39,261	-
為替差益	-	15,059
デリバティブ評価益	39,580	-
投資有価証券売却益	20,922	154,527
投資有価証券評価益	1,700	-
貸倒引当金戻入額	-	723
その他	28,995	23,214
営業外収益合計	288,823	347,616
営業外費用		
為替差損	25,251	-
デリバティブ評価損	-	3,593
投資有価証券評価損	-	500
持分法による投資損失	18,340	23,196
その他	40	-
営業外費用合計	43,633	27,290
経常利益	1,075,571	1,627,586
特別利益		
固定資産売却益	139	0
投資有価証券売却益	69,972	-
特別利益合計	70,111	0
特別損失		
固定資産除却損	5,813	1,037
減損損失	9,230	36,748
特別損失合計	15,043	37,786
税金等調整前四半期純利益	1,130,638	1,589,801
法人税、住民税及び事業税	280,282	465,380
法人税等調整額	128,771	77,354
法人税等合計	409,053	542,735
四半期純利益	721,585	1,047,066
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	2,195	△3,199
親会社株主に帰属する四半期純利益	719,389	1,050,266

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	721,585	1,047,066
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	47,013	71,202
為替換算調整勘定	954	525
退職給付に係る調整額	2,353	9,646
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△387
その他の包括利益合計	50,321	80,986
四半期包括利益	771,906	1,128,052
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	769,711	1,131,252
非支配株主に係る四半期包括利益	2,195	△3,199

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	小売事業	飲食事業	卸売事業	計				
売上高								
顧客との契約 から生じる収 益	21,029,713	899,702	3,633,625	25,563,040	48,076	25,611,117	—	25,611,117
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	21,029,713	899,702	3,633,625	25,563,040	48,076	25,611,117	—	25,611,117
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	76,210	76,210	13,950	90,160	△90,160	—
計	21,029,713	899,702	3,709,835	25,639,251	62,026	25,701,277	△90,160	25,611,117
セグメント利益 又は損失(△)	908,234	△40,026	142,715	1,010,923	27,227	1,038,151	△207,770	830,381

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、テナント事業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△207,770千円には、セグメント間取引消去△14,344千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△193,425千円が含まれております。全社費用は、主に総務・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	小売事業	飲食事業	卸売事業	計				
売上高								
顧客との契約 から生じる収 益	22,854,619	1,056,843	3,176,095	27,087,558	48,457	27,136,016	—	27,136,016
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	22,854,619	1,056,843	3,176,095	27,087,558	48,457	27,136,016	—	27,136,016
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	47,107	47,107	13,950	61,057	△61,057	—
計	22,854,619	1,056,843	3,223,202	27,134,666	62,407	27,197,074	△61,057	27,136,016
セグメント利益 又は損失 (△)	1,341,803	△3,185	154,611	1,493,229	25,393	1,518,623	△211,362	1,307,261

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、テナント事業であります。
2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△211,362千円には、セグメント間取引消去△149千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△211,212千円が含まれております。全社費用は、主に総務・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項
該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性が乏しいため、記載を省略しております。